



ナース★アクション

vol.02
2023.3.29
全日本民医連

全ての看護職員の処遇改善と体制拡充に向け、今、声をあげましょう!!

山梨

「県看護協会会長・
専務理事らと懇談」



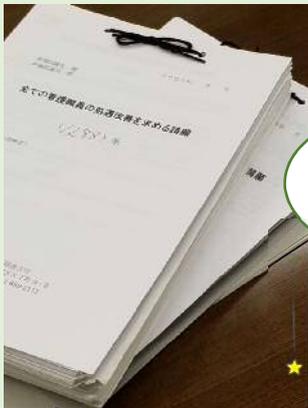
山梨民医連事務局長 村松裕子(認定看護管理者)

★山梨民医連では、看護委員長、法人看護部長、県連事務局長が山梨県看護協会会長と専務理事と懇談を行いました。
これまで看護師たちは、求められる期待や役割が拡大する中でも自分たちの処遇をあげてほしいという声をあげることはしてきませんでした。それは「患者さんや利用者さんのために」と働くことが直接その人たちの経済的負担にもなるからです。
今回の処遇改善評価料は、コロナ禍で看護の果たす役割の大きさを評価していただいた大きな成果です。しかし、同じようにコロナ禍多様な現場で働く多くの看護師たちがいることを私たちは知っていたべきなのです。
看護協会との懇談では、すべての看護師に向けた処遇改善に向けて一緒に取り組んでいきますよと確認しました。

賛同の輪が広がっています



愛知民医連から署名が届きました

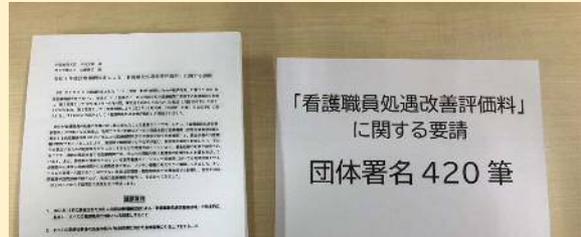


1843筆



綺麗に綴じて郵送していただき、ありがとうございます。カンペキです♥

東京民医連が厚労省交渉



3月27日、東京民医連は独自のアンケート調査結果(都内279事業所から回収)と、団体署名420筆、個人署名5,936筆を携えて厚労省に要請。保険局医療課企画調査係が対応しました。

看護、介護、保育などの現場で働いている方々の収入を増やすため、公的価格の在り方を検討する公的価格評価検討委員会が設置されており、そこで審議されていると。

署名にご協力をお願いします

[請願項目]2022年10月に新設された令和4年度診療報酬改定による「看護職員処遇改善評価料」を抜本的に見直し、すべての看護職員が対象となる制度とすること

署名用紙ダウンロード先

<https://kirarikango.com/news/news-3172/>
【送付先】

全日本民主医療機関連合会 看護委員会宛
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター7F



きりり看護



軍事費ではなく
いのちを守る予算を